



第59回糖尿病学の進歩 イブニングセミナー5

# 『能登半島地震災害支援の経験から ～緊急時の血糖マネジメント～』

2025年1月24日（金）17:30～18:20 第9会場 ホテルJALシティ那覇 1階 ファミージュ

## 座長

東京女子医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝内科学分野

教授

中神 朋子 先生

## 演者

京都第二赤十字病院 代謝内分泌内科

部長

山崎 真裕 先生

※本セミナーの参加には大会ホームページより参加登録を行った後に開設されるマイページにて事前申込みが必要となります。

参加登録のご案内ページをご確認ください。

<https://59shinpo.com/sanka>

※本セミナーは、現地開催のみです。



# 第59回糖尿病学の進歩 イブニングセミナー5 『能登半島地震災害支援の経験から ～緊急時の血糖マネジメント～』

京都第二赤十字病院 代謝内分泌内科

部長 山崎 真裕 先生

2011年の東日本大震災を契機に、糖尿病患者への災害支援の重要性が再認識され、2014年には日本糖尿病学会から「災害時糖尿病診療マニュアル」が発刊されました。その後の熊本地震で、災害時糖尿病医療支援の現場経験を通じて課題が整理され、日本糖尿病協会と日本糖尿病学会が協力し、災害時の糖尿病医療支援チーム（DiaMAT: Diabetes Medical Assistant Team）の構築が進められました。2018年にDiaMAT推進委員会が発足し、診療マニュアルの改訂、DiaMAT認定制度の推進、インスリン依存型糖尿病（IDDM）患者の登録準備を進め、災害時の糖尿病医療支援体制の強化を目指しました。

しかしながら、災害は予測不可能であり、準備期間中であつた2024年1月1日に最大震度7の能登半島地震が発生しました。この地震では津波による被害も発生し、未完成のDiaMAT体制の中で迅速な情報収集と活動開始が課題となりました。過去の熊本地震において試験的に活動を行っていた佐賀・熊本チームが早期に現地入りし、日本医師会災害医療チーム（JMAT）の指揮下で初めてDiaMATとしての本格的な活動を開始しました。また、日本糖尿病協会から全国各府県の糖尿病対策推進会議へ支援要請がなされ、京都チームはCDEJ（日本糖尿病療養指導士）を中心に医師、看護師、薬剤師、管理栄養士で構成され、2月23日から25日の3日間、被害が集中した輪島市にて慢性期支援を経験しました。この活動は、地域医療の回復に伴い一旦終了しましたが、被災地における医療ニーズが長期にわたり必要とされる現実を痛感しました。

特にIDDM患者におけるインスリンや関連物品の不足は命に直結する深刻な課題です。この課題に対応するため、JADECはLINEを活用した患者登録、そして被災時に避難場所に必要な物品を届けるシステムを構築し、2024年11月から運用を開始しています。また、平時から血糖管理や体重、薬剤などのデータをスマートフォンで一元管理する取り組みが、緊急時の迅速な対応に寄与すると考えられ、通常診療で普及しているCGM（持続血糖モニタリング）やe-SMBGなどを災害時に活用する可能性が期待されます。

本セミナーでは、能登半島地震における糖尿病医療支援の実際を振り返り、平時からの患者教育の重要性、災害時における血糖マネジメントの課題と工夫について検討します。また、CDEJやCDELを活用したDiaMAT認定制度についても触れたいと思います。

## 第59回 糖尿病学の進歩 企業展示会のご案内

開催期間 2025年1月24日（金）、25日（土）

展示会場 第7会場 ホテルコレクティブ 2F 中宴会場

展示内容 血糖自己測定器、採血用穿刺器具、合併症検査機器ほか

※展示品は変更になる可能性があります。

## ー アークレイからのお知らせ ー

### LINE公式アカウント「検査のアーレイ（医療従事者用）」

セミナーのご案内や友だち限定のコンテンツなどを配信しています。  
アーレイから発行している情報誌などの情報も定期的にご案内しています。

友だち追加は  
こちらから

